

# 学校関係者評価委員会報告書

会議名	2016年度 学校関係者評価委員会													
開催日時	2016年9月20日 15:30～16:30													
開催場所	国際ホテル・ブライダル専門学校 第二会議室													
出席者	<p>学校関係者評価委員</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>所属</th> <th>役職・氏名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新潟日米協会</td> <td>新潟日米協会 幹事・事務局長 五十嵐 芳則</td> </tr> <tr> <td>ホテルイタリア軒</td> <td>ホテルイタリア軒 営業部 課長 五十嵐 慶二郎</td> </tr> </tbody> </table> <p>学校教職員</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>所属</th> <th>役職・氏名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国際ホテル・ブライダル専門学校</td> <td>副校長 平原法子</td> </tr> <tr> <td>国際ホテル・ブライダル専門学校</td> <td>教務部長 高橋香織</td> </tr> </tbody> </table>		所属	役職・氏名	新潟日米協会	新潟日米協会 幹事・事務局長 五十嵐 芳則	ホテルイタリア軒	ホテルイタリア軒 営業部 課長 五十嵐 慶二郎	所属	役職・氏名	国際ホテル・ブライダル専門学校	副校長 平原法子	国際ホテル・ブライダル専門学校	教務部長 高橋香織
所属	役職・氏名													
新潟日米協会	新潟日米協会 幹事・事務局長 五十嵐 芳則													
ホテルイタリア軒	ホテルイタリア軒 営業部 課長 五十嵐 慶二郎													
所属	役職・氏名													
国際ホテル・ブライダル専門学校	副校長 平原法子													
国際ホテル・ブライダル専門学校	教務部長 高橋香織													
会議内容	<p><b>【次第】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>副校長挨拶：副校長より学校関係者評価委員の趣旨説明を行った</li> <li>学校関係者評価委員の紹介：各委員の紹介を行った</li> <li>2016年度学生状況報告：在籍数、新入生数等の報告を行った。</li> <li>2015年度就職状況実績報告：前年度の実績報告を行った</li> <li>2016年度教育活動中間報告：今年度の中間実績の報告を行った。</li> <li>学校自己評価に対する意見徴収：自己評価結果に基づき、各評価結果について意見徴収を行った。</li> </ol> <p><b>【評価項目】</b></p> <p>「教育理念、目的、人材育成像」「学校運営」「教育活動」「学修、教育成果」  「学生支援」「教育環境」「学生の募集と受入」「財務」「法令等の遵守」  「社会貢献・地域貢献」</p> <p>各項目に対する委員からの意見は下記の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「教育理念・目標」について  関連の業界関係者、企業に対し学校の存在や教育内容が周知不足の点がある。情報発信する機会を増やす必要がある。</li> <li>・「学修成果・教育効果」について  卒業生の離職率や動向の把握等、卒業後のネットワークづくりが必要。企業からの中途採用の求人照会にも対応できるようなシステムがあるとよい。  また、卒業後も継続的にキャリア教育ができるような講座開設があつてよい。</li> </ul>													

・「教育環境」について

元ホテルをそのまま使用し実践的教育を行っていることが他校差別化となっており、実践的な教育、実習が行われていることは評価できる。一方で施設が老朽化している分もあるため対応を計画的に進める必要がある。

・「学生の受入れ募集」について

日本で就職したいというアジア圏の留学生が増えており、ホテル分野は希望者も増えており、留学生を多数受けている学校もあると聞く。留学生数はまだ少ないが、少子化が進む中、留学生獲得は今後重要となってくると思われる。戦略的に進めていくことが必要。

・「社会貢献・地域貢献」について

「ひまわりウェディング」「あかりばウェディング」等、外部と連携して学生が主体的に企画、実行するイベントは、様々な大人とのコミュニケーション機会ともなり非常に良い。このような機会がより増えるとよい。

7. 学校運営に関する意見徴収:学校運営全般について意見徴収を行った。

・専門学校と専門職大学(仮称)の差が難なのかを明確にしないと、高校生や保護者が決めかねる。情報提供が大事。

・インターンシップを教育特徴のひとつとして位置づけているのであれば、より質を高めていく必要がある。成績評価方法や、担当する業務内容等、企業や企業担当者間で開きがないような仕組みづくりが必要。

・インターンシップに関しては、企業によってはアルバイト料のいらぬアルバイト程度に考えているところもある。それでは高い教育効果は得られないので、企業を選ぶ必要はある。どこでもいいというわけではない。学生の学びになる環境と業務を提供してくれる先を探すことが必要。

・英語学習の場として、日米協会のセミナー参加促進をして欲しい。農業政務官を読んでグループディスカッションも考えている。一方的な講演ではなく。海外に目を向け、英語で話す楽しさを知ってもらうイベントを企画している。ぜひ積極的参加をして欲しい。

・外国人観光客は今後もまだ伸びる。外国人と話すことに躊躇しない気持ちを作ることが必要。若いうちに海外に行くのはいいことであるので、留学や海外研修の機会を積極的に活用する促しをすると良い。

・学生は教員等知っている人にはするが、知らない人に挨拶をしない傾向がある。誰にでも反射的に挨拶できることが必要。日頃からの指導の強化の必要あり。